



そら組だより

臼井幼稚園

令和6年12月16日

発行

今年は急に真冬が到来したまま居座り続けています。インフルエンザもそろそろ東京で流行し始め、近隣の小学校では学級閉鎖との情報が。せっかくの冬休みに罹患しないよう、手洗いうがいの徹底とあいうべ体操をご家庭でもぜひ食事前に実践してください。。

<お詫び>

2年連続、この時期に、こんなお詫びを書くのは何の因果かと思いますが、にじ組の担任が体調を崩し、少し前から休んでいます。12月中は休職とし、1月からの復帰を見込んでいます。2学期はあと僅かですが、にじ組は伊東恵理がしっかり守ります。3学期の復帰が難しい可能性を加味して、発表会のピアノの練習もはじめていますので、ご安心ください。

<バザーの純利益のご報告>

純利益は298,456円でした。
この収益で各クラスに新しいブロックを197,340円で購入しました。残りは幼稚園で子ども達のために有効に使わせていただきます。バザーへのご寄付、SOSの皆さまのご協力、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

<エジソン箸の使用を控えてください>

幼稚園にエジソン箸を持ってきて使っているお子さんもちらほらいますが、エジソン箸やその他の補助箸はあくまでもお箸を使い始める子ども（2, 3歳まで）のための補助具です。正しい持ち方ができるようにはなりません。

臼井幼稚園では思い切ってエジソン箸を控えてもらうよう、保護者の皆さまにお願いします。子どもは大きくなるにつれて手先が器用になり、細かい作業もできるようになっていきます。使いやすいお箸のおすすめは、六角形のお箸です。

使っていることが当たり前になっていることやものをこの機会に見直していただいただけませんか。

先日、2024年4月長野県佐久市に開校したさやか星小学校を視察に行ってきました。この小学校は行動分析学をもとにして、デジタルツールを駆使した新しい教育を実践する小学校です。創設者は

URAPAGEで時々本のご紹介をしている奥田健次先生です。

「世界でひとつだけの子育ての教科書」

「子育ての本当の原理原則」などの著者です。

「本当に子ども達のためになる教育ってなんだろう？ひとつのものをさして子ども達をジャッジせず、それぞれの強みを伸ばすことに注力することだ」

教育の「あたりまえ」を変えていく、新しいチャレンジをしている学校です。さやか星小学校の掲げる

“マルチものさし”の考え方があたりまえでない今の教育現場を、私自身も疑問に思い、幼稚園を卒園してからの子ども達の行く末を案じているところです。

そして臼井幼稚園で行なっている教育が“マルチものさし”であるかどうか？子ども一人ひとりの価値を引き出し、お互いを尊重しあい、自由な心で生きていけるように、教育できているか？確認したかったのです。さやか星小学校には教育理念に賛同して移住してこられたご家族が半数ほど来ているそうです。こういう特色のある学校が、日本の教育のスタンダードになっていけばいいのに！と思いました。

そして、臼井幼稚園の教育は間違っていない！と確信しました。

よいお年をお迎えください。

園長 志田裕美子

<年長組今月の目標>

健康・意欲を持って縄跳びに取り組む。

人間関係・小学校への期待を持ちつつ、

けじめのついた行動がとれる。

環境・四季の移り変わりを自ら発見し、気づく。

言葉・相手の気持ちを考えた上での発見ができる。

造形・三方、新年会おもちゃ

音楽・

<1月>「友達讃歌」

<1,2月>「ポンタものがたり」「ありがとう拍手を」
「作品作りの歌」「発表会の合唱曲」

<2,3月>「うれしいひなまつり（3/3まで）」
「夢を探しにでかけよう」「みんなの未来」
「未来のなかで会おうよ」「よろこびの歌」
「涙と勝利と」

<2ページへ続きます>

<担任から今月のメッセージ>

はぁ～と息を吐くと白くなるくらい肌寒く、冬らしい気候になってきましたね。皆様体調に変わりはないですか？

先日のミニミニ運動会ではたくさんの応援、そしてご参加ありがとうございました！10月の運動会の雨空とは比べ物にならないくらい晴天のなか、無事に終わることができました。

子ども達の競技の他に今回は保護者競技も行ないました。思っていたよりもたくさんの方にご参加いただき、子ども達もとっても嬉しそうでした。残念ながらそら組は負けてしまいましたが…（私は途中で玉を落としたり、玉かごに入らなかったり、と一度も得点にはなりませんでした。すみません…。）子ども達だけではなく競技を全力で楽しむ保護者の皆様も、それをご覧になっている皆様の笑顔もとっても素敵でした！

その後タイヤ取りを行ない、リレーをして幼稚園生活最後の運動会が終了しました。

リレーでは、バトンを落としてしまったり、転んでしまったりと思いがけないことも起こりました。それでもすぐに持ち直し、最後まで諦めずに走り切るみんなは本当に素敵でした。

そら組は「今日はリレーだよ！」と伝えるだけで大喜びをするほどリレーが大好きです。走ることが得意な子や苦手な子がいるなかでも、お互いに支え合ってチームのために一生懸命に走るみんなを見て何度も胸を打たれました。ミニミニ運動会が終わると、「もうリレーはやらないの？」と寂しそうにしていたのですが、運動会は終わったけどリレーはまだまだやるよ～！と伝えると「やった～！また頑張ろう～！」と改めて気合いを入れ直していました。これからも楽しみです。

「今日も劇やりたい！」と毎日伝えてくれるみんなと劇作りの真っ最中です！作品発表の前にはいくつか話をして、そのなかから今年の劇を発表しました。桃太郎、オズの魔法使い、浦島太郎と1日ひとつ話し、「みんなは桃太郎がいいかな～」なんて言うのと「え～簡単だもん！違う話がいい！」と本当に桃太郎にするの～？とプーイングの嵐でした。それなら！と「ちょっと難しいかもしれないけどもうひとつ話を持ってきたよ～！」と、いよいよ本命のONE PIECEの話をしました。話を終えると、「絶対ONE PIECEが良い！」となかなか良い反応を見せてくれてこれは発表が楽しみ～とニヤニヤが止まりませんでした。

いよいよ発表の時！「そら組は……ONE PIECEです！」と言うと「やったあ～！」と飛び跳ねて喜んでくれました。私が思っていた以上の反応が見られて嬉しかったです！

実際に発表会ごっこを始めると、子ども達同士が「ここはこうやったら良いんじゃない？こうだと思う！」などと意見を出し合ってくれていて、その考えもあるのか～と私も子ども達から日々学んでおります。

表情、動き、セリフなど一人ひとりの表現をたくさん引き出して完成まで突き進んでいきます！

ぜひそら組のONE PIECEをお楽しみに。

縄跳びチャレンジも現在進行中です！日々記録更新を目標に頑張っています。みんなの努力は本当に素晴らしいです。冬休み中もぜひ子ども達の縄跳びチャレンジを見守ってあげてください。

冬休み明けも元気なみんなに会えることを心から楽しみにしています！本年もありがとうございました。良いお年をお迎えください。

若槻 菜美

